

メープルレター（69）

新年

明けましておめでとうございます。新年のご多幸と健康をお祈りしております。本年も宜しく
お願いいたします。

新年の朝は、あたりは真っ暗。雨がしょぼしょぼ。昨年末から雨が続き、白い雪はすっかり消
えてしまいました。大晦日年越しの花火はたった2発で終わってしまい、中途半端なトルドー
政権のように尻つぼみでした。

マダム田中の年末は、怪我から完全に元に戻っていないので、多少のんびりを期待していたの
ですが、おっとこどっこい、例年通り、マダム寿司の日が続いておりました。クリスマスは、
こちらでは、日本のお正月と同じように家族で過ごす大事な行事です。町を光輝くお城に飾り
たて、テーブルはデラックスレストラン並みにごちそうを用意して家族で集まります。

昨年末のドリトル先生宅のクリスマスは、やや複雑なものとなりました。バラバラだったので
す。子供たちは中年に近ずき、孫たちは大きくなり、クリスマスツリーの下の贈り物で喜ぶ年
ではなくなってしまいました。それぞれの家のクリスマスの送り方になったのです。義理の次
男は、一家でインド洋のレユニオン島に住む従兄（ドリトル先生の甥）の家で年末年始を過
すことになりました。

「サメに食われないようにね。」（レユニオン島はサメで覆われ、うじゃうや島の周りに群が
っております。美しいインド洋を目の前にして、泳げるのは網を張ってサメ対策をしたわずか
の砂浜だけなのです。無用心にどぶーんと波と戯れようと海に飛び込むと、さらうのは波でな
くサメなのです。）

ドリトル先生はそう言って、なんでこんな遠い、地球の反対側の、しかも南下したインド洋に
まで出かけていくのか。。。と深くため息をつくのでした。二人の子供を連れて、フレデリッ
クトンから、モンリオール、パリ、レユニオンと飛行機を乗りつぎ2日かかります。パリで
の待ち時間が半日あり、その間だけホテルを予約し、ひと眠りして英気を蓄え、また飛行機に

乗り、やっとたどり着いたようです。このレユニオン島で、クリスマスを賑やかに過ごし、山をトレッキングをした後、お正月を楽しく過ごしているようです。

義理の長男は、子供5人（双方の連れ子4人と末っ子の娘）と主人の最初の奥さん（長男の母親）や彼女の3度目のご主人とクリスマスイブを過ごし（三度目のご主人がドリトル先生と一緒にだとヒステリーを起こすので分けているようです。とにかくこの世は棲みにくいものです。いつも誰かがどうでも良いことで騒ぎだします。）、クリスマスの25日にはドリトル先生やマダム田中と過ごしました。長男の子供たちがマダム田中のお寿司や卵焼きや春巻きを玄関口で待ちわびていると思うと、マダム田中は食材を切って痛む肩を撫ぜ、長い立ち時間で痛む膝をかばいながら頑張るのです。長男の子供たちとは久しぶりの熱い再会でした。新年は、長男は、奥さんの子供達と末っ子を連れフロリダです。長男の二人の子供たちは、母親や祖父母たちと太陽一杯のドミニカ共和国です。楽しく過ごしていることでしょう。

さて、娘はどうかといえば、クリスマスイブの夜から義実家でクリスマスを過ごすため、ドリトル先生たちとクリスマスイブにランチをして、せわしくオタワの義実家に向かっていきました。娘がクリスマスプレゼントに持ってきた、孫娘の写真アルバムは心温まるものでした。自然体の孫娘とドリトル先生一家の秋のある日の写真集です。イブのこの日は激しい吹雪でした。オタワまでの高速道路の状況は悪く、途中で閉鎖されていた所もあったようです。普段は2時間で着くはずが、のろのろ運転で4時間かかったそうです。こうして、子供達は、それぞれが、それぞれの年末年始を過ごしておりました。ドリトル先生とマダム田中は、無事に1年が終わったことに感謝しながら、おとなしく、謙虚に行く年くる年を過ごしておりました。

ドリトル先生は、師走の一ヶ月間を魚の水槽作りに専念しておりました。ある日、書斎の机の半分ほど大きさ（横1メートル奥行き30センチ）の水槽をドカッと据え、水を入れるとその水の浄化に一ヶ月を費やしたのです。浄化装置をつけ、毎日水を足したり、とったり、かき混ぜたりと辛抱強く、それはそれは丁寧に水の面倒をみていました。日に日に水の濁りが消え、綺麗になっていきました。やがて温度計をつけ、水草や石も足し、水の質も安定していきました。もっとも、しゃもじで水槽の底の砂をかき回し、鍋で水を足し、茶こしで砂を濃し、余計な浮遊物をピンセットでとったりと、その度に台所用品が消えていったのではあります。が。。。

そしてある日突然、4匹のメダカが水槽に泳いでいたのです。

「これはほんのデビュー。少しずつ綺麗な魚を増やしていくから。」

「おじいちゃん、お魚、お魚。。」

クリスマスイブのランチにやってきた1歳10か月の孫娘は何とも嬉しそうです。水槽の前に座り込むとジーっと4匹のメダカを眺めていました。4匹のメダカでもこの子には夢の世界なのかもしれません。メダカと一緒に泳いでいるかのようでした。

大晦日には更に4匹のグッピーと2種類のお魚が増え、にぎやかな美しい水槽になりました。水槽の前には長男から預かっている亀がマダム田中のいけばなの水盤の中で悠然と泳いでおります。長男から預かっているランクスのハイブリッド猫はマダム田中の膝でゴロゴロと喉をならしながらまったりしております。動物に囲まれた年明けとなりました。

本年も宜しく願いいたします。